

肝臓専門医による【肝機能異常】専門外来のご案内

健康診断の胸腹部・血液検査で「AST（GOT）」「ALT（GPT）」「γ-GTP」などの数値が高く、「要再検査」「要精密検査」と判定されていませんか？

肝臓は「沈黙の臓器」と呼ばれ、軽度の炎症や脂肪肝の段階では自覚症状がほとんどありません。しかし、放置すると徐々に病状が進行し、慢性肝炎、肝硬変、さらには肝がんへと発展するリスクがあります。

当院では、肝臓病の診断・治療に精通した「肝臓専門医」による専門外来を開設しており、原因の追究から適切な予防・治療管理まで一貫して行っています。

このような悩み・指摘はありませんか？

- 「お酒をあまり飲まないのに」数値が高かった
- 「脂肪肝と言われたけれど」どう対策すればいいかわからない
- 「毎年少し高めだけど」症状もないので様子を見ている
- 「要精密検査」の通知が届いたが、何科を受診すべきか迷っている

近年では、お酒を飲まない方でも肥満や代謝異常（糖尿病・脂質異常症など）に伴って発症するMASLD/MASH（代謝異常関連脂肪性肝疾患／脂肪肝）が増加しています。早期に発見し、適切なアプローチを行うことが重要です。

当院の専門外来の特徴

1. 肝臓専門医による精度の高い診療

血液検査の詳細な解析や超音波（エコー）検査等を用い、肝傷害のパターン（肝細胞傷害型、胆汁停滞型など）から原因を的確に鑑別します。

2. 痛みのない迅速な画像検査

超音波検査等を用いて、肝臓の脂肪化の程度や線維化（硬さ）の兆候を迅速かつ低侵襲に評価します。

3. 生活習慣病・全身疾患を含めたトータルケア

単に薬を処方するだけでなく、食事・運動療法の指導や、背景にある代謝異常の管理を並行して行います。

専門外来でわかる病気・評価できる病態一覧

疾患カテゴリー	対象となる病気・状態	概要・受診の目安
代謝・生活習慣関連 （脂肪性肝疾患）	MASLD 旧 NAFLD	代謝異常関連脂肪性肝疾患 お酒を飲まない方にも増えている、肥満や生活習慣病（糖尿病・高血圧・脂質異常症）に伴う脂肪肝です。
	MASH 旧 NASH	代謝異常関連脂肪肝 脂肪肝が慢性的な炎症を起こし、進行すると肝硬変や肝がんへ移行するリスクがある病態です。
アルコール性	アルコール性肝障害	過度の飲酒が原因で生じる肝機能障害（脂肪肝・肝炎）です。生活指導・経過観察を行います。
ウイルス性肝疾患	B型慢性肝炎 / キャリア	自覚症状のないまま進行することが多いため、ウイルス量評価や定期的な精密画像診断（超音波等）が必要です。
	C型慢性肝炎	
自己免疫性・指定難病	自己免疫性肝炎 (AIH)	免疫異常により自身の肝細胞が攻撃される疾患。血液中の免疫グロブリン(IgG)等から精密に鑑別します。
	原発性胆汁性胆管炎 (PBC)	肝臓内の小さな胆管に炎症が起きる疾患（中高年女性に多め）。γ-GTPやALPの上昇から特定します。
薬剤性・その他	薬剤性肝障害	処方薬、市販薬、サプリメント、健康食品、漢方薬などが原因で生じる肝機能異常の特定と見直しを行います。

疾患カテゴリー	対象となる病気・状態	概要・受診の目安
	体質性黄疸 (ギルバート症候群等)	ビリルビン値のみが高く出る良性の体質性疾患かを鑑別し、不要な不安を解消します。
進行度・リスク評価	肝線維化（硬さ）評価 肝がんスクリーニング	慢性肝障害における「肝臓の硬さ（線維化）」の進行度を評価し、肝硬変や肝がんの発症リスクを未然にチェック・管理します。

専門外来 診療スケジュール

※ 記号凡例：◎＝肝機能異常 専門外来診察日（優先対応）／○＝通常診療時間

【2027年3月まで】現在の診療時間

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
8:30～12:30	○	○	○	○	◎	○	休診
16:00～18:00	○	◎	○	○	○	－	休診

【2027年4月以降】新診療時間（診察枠拡大）

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
8:30～12:30	○	○	○	◎	◎	○	休診
16:00～18:00	◎	◎	◎	○	○	－	休診

受診時の持ち物・流れ

お持ちいただくもの: 健康診断の結果表（原本）、お薬手帳、健康保険証（マイナ保険証）

主な検査内容: 精密血液検査（ウイルス性肝炎マーカー、自己免疫指標等）、腹部超音波（エコー）検査など

【受診をご希望の方へ】

精密検査やエコー検査をスムーズに受けていただくため、事前のご予約または早めの時間帯でのご来院をおすすめしております。